

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第14期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社セルシード
【英訳名】	CellSeed Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橋本 せつ子
【本店の所在の場所】	東京都新宿区原町三丁目61番地
【電話番号】	03（5286）6231
【事務連絡者氏名】	管理部門長 山崎 浩
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区原町三丁目61番地
【電話番号】	03（5286）6231
【事務連絡者氏名】	管理部門長 山崎 浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第3四半期 連結累計期間	第14期 第3四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (千円)	91,252	53,300	105,769
経常損失 ( ) (千円)	327,360	429,133	581,921
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	328,909	438,182	584,588
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	276,991	457,900	489,516
純資産額 (千円)	1,528,452	2,937,406	2,536,302
総資産額 (千円)	1,733,099	3,137,182	2,784,627
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	47.57	50.84	81.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	57.2	93.6	90.9

回次	第13期 第3四半期 連結会計期間	第14期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	15.90	16.67

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社が判断したものであります。

(1) 当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更はありません。

(2) 当社グループが将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況その他の提出会社の経営に重要な影響を及ぼす事象

当社グループは、当社新株予約権の発行及び行使による資金調達並びに全社的な支出抑制の実施により、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,688,727千円となり、財務基盤については大幅な改善を実現しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載は実施しておりませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

#### 細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を目的とした事業提携の実現

当社グループは、引き続き特定の相手方と守秘義務契約を締結して事業提携交渉を進めております。当四半期連結会計期間までに具体化したものはございませんでしたが、当社グループはこれらの交渉を通じた事業提携の実現を当該状況の解消を図る上での最優先課題と位置付けて引き続き推進していく所存です。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果などから、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られ、景気は緩やかに回復基調が続いているものの、個人消費は消費税率引き上げの影響による落ち込みが見られました。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、本年11月に施行が予定されている再生医療安全性確保法の法整備に合わせる形で、大手損害保険会社から再生医療研究機関向けの保険投入が発表されるなど、先端医療研究を支援するインフラの整備促進の動きが見られました。

以上のような環境の下、当社グループは6月に発足した橋本社長を中心とする新経営体制のもと再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。その結果、両事業における先行投資を主因として、当第3四半期連結累計期間における売上高は53,300千円（前年同四半期比37,952千円の減少）、営業損失は453,690千円（前年同四半期比132,660千円の増加）、経常損失は429,133千円（前年同四半期比101,773千円の増加）、四半期純損失は438,182千円（前年同四半期比109,272千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、引き続き温度応答性培養器材を中心とした器材販売活動を推進いたしました。製造分野においては、4月の大日本印刷株式会社との細胞培養器材 製造委託基本契約締結に伴い、来年度本格稼働に向けた製造委託準備作業に取り組みました。また、更なる器材事業拡充を目指し、新規器材の研究開発に取り組みました。

以上のような活動の結果、売上高は53,300千円（前年同四半期比20,967千円の減少）、営業損失は31,502千円（前年同四半期は391千円の営業利益）となりました。

#### 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、複数の細胞シート再生医療製品パイプラインに関する研究開発を推進しております。当社細胞シート再生医療製品パイプラインにつきましては、外部環境・収益性・外部資源活用を視野に入れ、開発品目・開発地域・開発時期等について現在事業提携候補先との協議も踏まえて再生医療パイプラインの戦略的順位付けを行っております。

また、当社は再生医療新法の施行により新たに企業参入が可能となる細胞受託加工業へ参入することで中期的な収益機会獲得を目指しており、当四半期においても引き続き細胞シート受託加工実施のための準備を進めました。

以上のような活動の結果、営業損失は238,829千円（前年同四半期比65,966千円の増加）となりました。（当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。）

### (2) 財政状態の分析

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて353,668千円増加し、3,101,356千円となりました。これは主に、現金及び預金が342,507千円増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,112千円減少し、35,825千円となりました。これは主に、投資その他の資産が2,193千円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて352,555千円増加し、3,137,182千円となりました。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて48,548千円減少し、199,775千円となりました。これは主に未払金が26,081千円、前受金が16,970千円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて48,548千円減少し、199,775千円となりました。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて401,104千円増加し、2,937,406千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ432,658千円増加したものの、四半期純損失438,182千円を計上したことなどによります。

### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は147,872千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動に重要な変更はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する事項について

当社グループは、当社新株予約権の発行及び行使による資金調達並びに全社的な支出抑制の実施により、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,688,727千円となり、財務基盤については大幅な改善を実現しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載は実施しておりませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

#### 細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を目的とした事業提携の実現

当社グループは、引き続き特定の相手方と守秘義務契約を締結して事業提携交渉を進めております。当四半期連結会計期間までに具体化したものはございませんでしたが、当社グループはこれらの交渉を通じた事業提携の実現を当該状況の解消を図る上での最優先課題と位置付けて引き続き推進していく所存です。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,300,000
計	15,300,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,674,419	8,674,419	東京証券取引所JASDAQグロース	完全議決権株式であり権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 なお、単元株式数は100株であります。
計	8,674,419	8,674,419	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	8,674,419	-	5,310,466	-	5,290,466

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日現在）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,670,100	86,701	-
単元未満株式	普通株式 4,219	-	-
発行済株式総数	8,674,419	-	-
総株主の議決権	-	86,701	-

(注)1 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式27株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社セルシード	東京都新宿区原町三丁目61番地	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

(注)1 当社は、自己株式のうち、単元未満の自己株式を27株所有しております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は以下の通りであります。

(1)役職の異動

新役名及び新職名	旧役名及び旧職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長	取締役副社長	橋本 せつ子	平成26年6月1日
取締役会長	代表取締役社長	長谷川 幸雄	平成26年6月1日
取締役最高財務責任者	取締役最高財務責任者管理部門長	細野 恭史	平成26年6月18日

## 第4【経理の状況】

## 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

## 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,688,727	3,031,235
売掛金	9,959	11,054
商品及び製品	7,913	13,185
仕掛品	6,885	5,888
原材料	388	300
前払費用	21,602	26,297
その他	12,212	13,393
流動資産合計	2,747,688	3,101,356
固定資産		
有形固定資産	-	939
無形固定資産	-	141
投資その他の資産	36,938	34,744
固定資産合計	36,938	35,825
資産合計	2,784,627	3,137,182
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	867	3,844
未払金	50,999	24,918
未払法人税等	19,719	8,101
賞与引当金	-	8,882
前受金	160,021	143,051
その他	16,716	10,977
流動負債合計	248,324	199,775
負債合計	248,324	199,775
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,877,807	5,310,466
資本剰余金	4,857,807	5,290,466
利益剰余金	7,289,024	7,727,206
自己株式	201	201
株主資本合計	2,446,390	2,873,525
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	83,599	63,880
その他の包括利益累計額合計	83,599	63,880
新株予約権	6,312	-
純資産合計	2,536,302	2,937,406
負債純資産合計	2,784,627	3,137,182

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	91,252	53,300
売上原価	43,606	32,541
売上総利益	47,646	20,759
販売費及び一般管理費		
研究開発費	132,248	147,872
その他	236,427	326,577
販売費及び一般管理費合計	368,675	474,449
営業損失( )	321,029	453,690
営業外収益		
受取利息	90	573
補助金収入	78,163	36,763
為替差益	-	83
その他	1,000	311
営業外収益合計	79,254	37,732
営業外費用		
為替差損	47,102	-
株式交付費	2,596	5,070
支払手数料	35,886	7,893
その他	-	211
営業外費用合計	85,585	13,175
経常損失( )	327,360	429,133
特別損失		
社債償還損	-	7,500
特別損失合計	-	7,500
税金等調整前四半期純損失( )	327,360	436,633
法人税、住民税及び事業税	1,549	1,548
法人税等合計	1,549	1,548
少数株主損益調整前四半期純損失( )	328,909	438,182
四半期純損失( )	328,909	438,182

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	328,909	438,182
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	51,917	19,718
その他の包括利益合計	51,917	19,718
四半期包括利益	276,991	457,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,991	457,900
少数株主に係る四半期包括利益	-	-



【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
減価償却費	899千円	1,515千円

( 株主資本等関係 )

. 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ588,458千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,002,155千円、資本準備金が3,982,155千円となっております。

. 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ432,658千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,310,466千円、資本準備金が5,290,466千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,268	16,984	91,252	-	91,252
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	74,268	16,984	91,252	-	91,252
セグメント利益又は損失( )	391	172,862	172,471	148,558	321,029

(注)1 セグメント損失の調整額 148,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,300	-	53,300	-	53,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	53,300	-	53,300	-	53,300
セグメント利益又は損失( )	31,502	238,829	270,331	183,358	453,690

(注)1 セグメント損失の調整額 183,358千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	47円57銭	50円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	328,909	438,182
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	328,909	438,182
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,914	8,619
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

株式会社 セルシード

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 芝 田 雅 也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡 田 雅 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セルシードの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セルシード及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。